

先進地域のリーダーが
熱く語る！

豊かな自然を 地域活性化に 活かす

奄美・沖縄 世界自然遺産
登録を契機として

自然を守りながらそれを活かして地域の活性化を図ることは、多くの地域にとって重要な課題です。近年では、アドベンチャーツーリズムや希少野生動物との共存を新たな付加価値としてブランド化した農業や認証制度、防災や環境の分野を中心にNbSも国内外で議論や社会実装が進められています。自然環境を損なうことなく、活用することで環境と経済が連動する新たな仕組みが求められています。

そこで本シンポジウムでは、今回の奄美・沖縄の世界自然遺産の登録を契機として、自然を活かした地域創生に関する具体的な事例に学びながら、自然と活力ある地域社会を共生させるための取組について議論を深めます。

日時

令和4年

2月5日  14:30~17:30

会場

オンライン（ZOOMウェビナー）



大正大学 地域構想研究所

■内容

1. 開会挨拶

大正大学 専務理事／大正大学地域構想研究所 相談役 柏木 正博

2. IUCN挨拶

国際自然保護連合(IUCN) 事務局長 ブルーノ・オベルレ

3. キーノートスピーチ1

「NbS研究の現状と未来(仮題)」

大正大学地域構想研究所 教授、IUCN日本リエゾンオフィス コーディネーター 古田 尚也

4. キーノートスピーチ2

「世界自然遺産とアドベンチャーツーリズム(仮題)」

大正大学地域構想研究所 准教授 岩浅 有記

5. 事例紹介(登壇順)

鹿児島県奄美市長 安田 壮平

沖縄県国頭村長 知花 靖

鹿児島県屋久島町長 荒木 耕治

前兵庫県豊岡市長 中貝 宗治

新潟県佐渡市長 渡辺 竜五

6. パネルディスカッション

「自然、人、地域経済が共生した地域創生の道を探る(仮題)」

パネリスト 事例紹介5名

コメンテーター

毎日新聞医療プレミア編集部兼論説室 永山 悦子

大正大学地域構想研究所 客員研究員、アジアエコツーリズムネットワーク 理事長 高山 傑

大正大学地域構想研究所 客員教授、元環境省 自然環境局長 小野寺 浩

コーディネーター 岩浅 有記

7. 総評

大正大学地域共創コンソーシアム 代表(予定) 片山 善博

8. 閉会挨拶

大正大学地域構想研究所 副所長 首藤 正治

■参加費：無料

■申込期限：令和4年1月28日（金）17：00

■申込方法：事前申込制（先着順）

大正大学地域構想研究所 ホームページよりお申込みください。

https://chikouken.org/topics/seminar_event/12971/



■お問い合わせ先：大正大学 地域構想研究所 事務部

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

TEL: 03-5944-5482 Mail: info_chikouken@mail.tais.ac.jp

窓口受付時間：9時～17時（月～金）

■主催

 大正大学 地域構想研究所

■共催

IUCN（国際自然保護連合）

■後援（申請中）

公益財団法人日本離島センター

鹿児島県奄美市、沖縄県国頭村、鹿児島県屋久島町、

兵庫県豊岡市、新潟県佐渡市

■協力

環境省自然環境局